

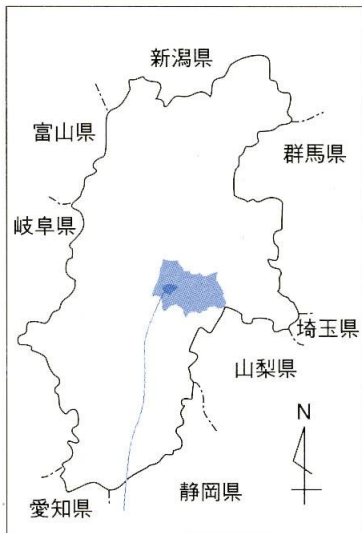
～源流域から始める 川ごみ・海ごみ対策～



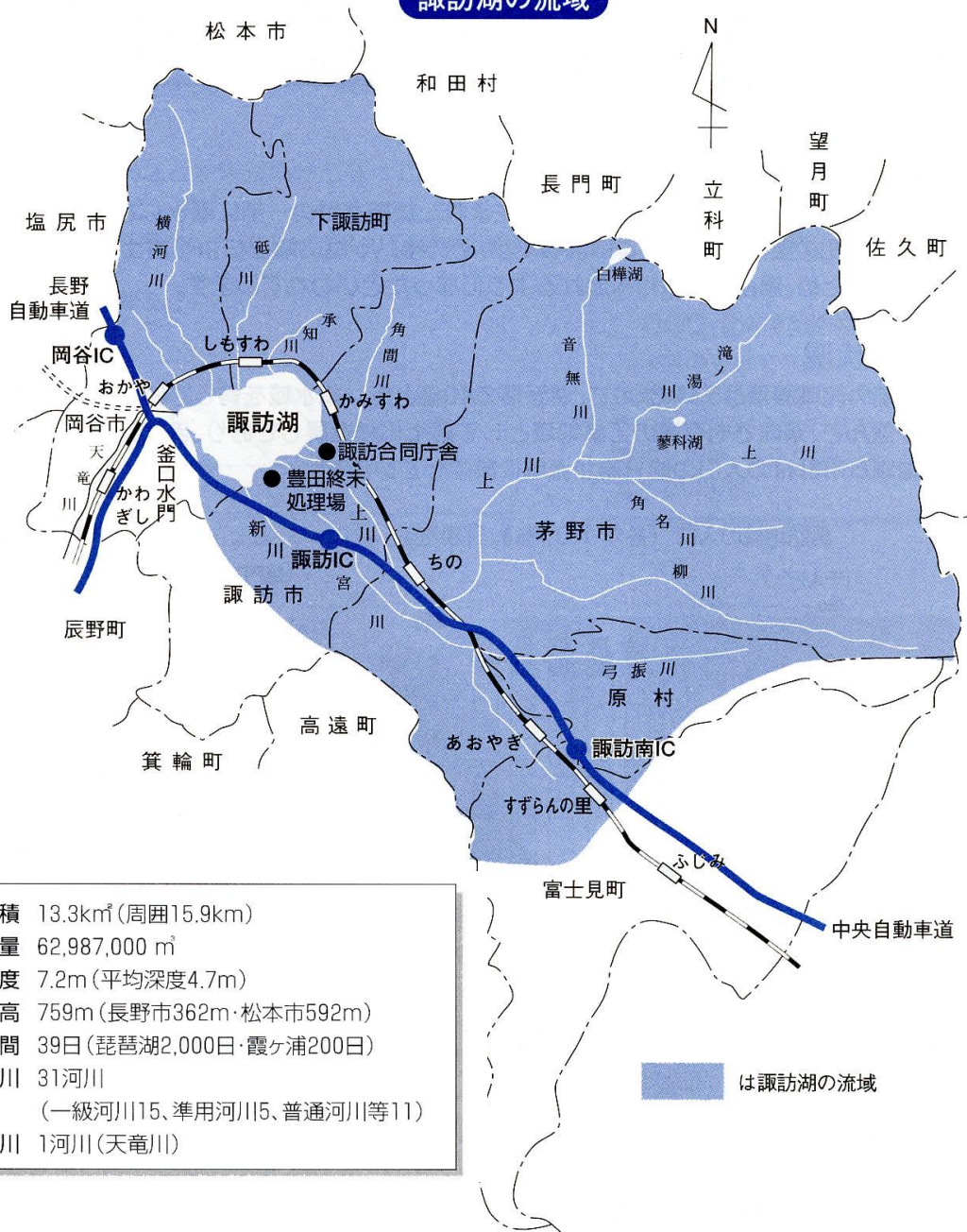
下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会

諏訪湖の概要

諏訪湖の位置



諏訪湖の流域



湖面積	13.3km ² (周囲15.9km)
総貯水量	62,987,000 m ³
最大深度	7.2m(平均深度4.7m)
湖面標高	759m(長野市362m・松本市592m)
滞留時間	39日(琵琶湖2,000日・霞ヶ浦200日)
流入河川	31河川 (一級河川15、準用河川5、普通河川等11)
流出河川	1河川(天竜川)

■ は諏訪湖の流域

諏訪湖全景



承知川



角間川

上川



天竜川

砥川

横河川



諏訪湖はコンクリート護岸に囲まれ



水質も悪化 アオコ
に覆われて緑の湖に



湖面も湖岸も
ごみに覆われた

コンクリート護岸から人工渚へ

住民による清掃活動も活発に



下水道も普及し
水質も徐々に改善

一見すると、ごみも減ってきて
諏訪湖は元の姿に戻ってきたようにみえる

しかし、



細かなごみが、たくさん残っている
この問題をどうするべきか？

平成28年度から ごみ調査を開始

平成30年度 下諏訪町でのごみ調査結果(全7回)

飲料ペットボトル 638 (44,177)

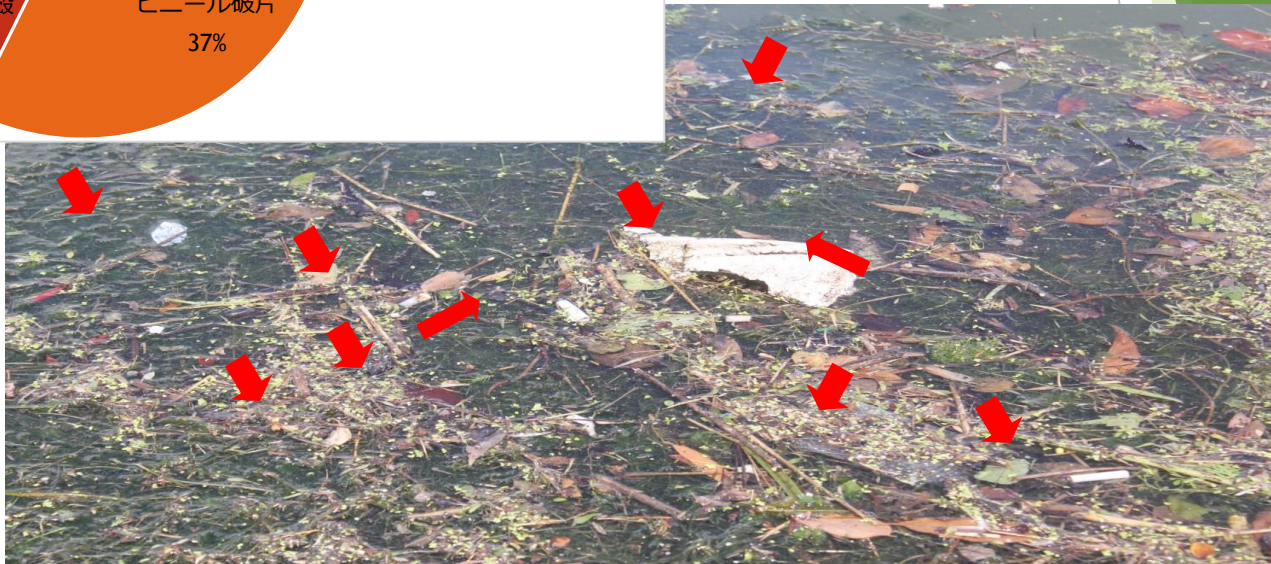
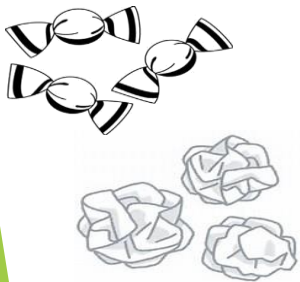
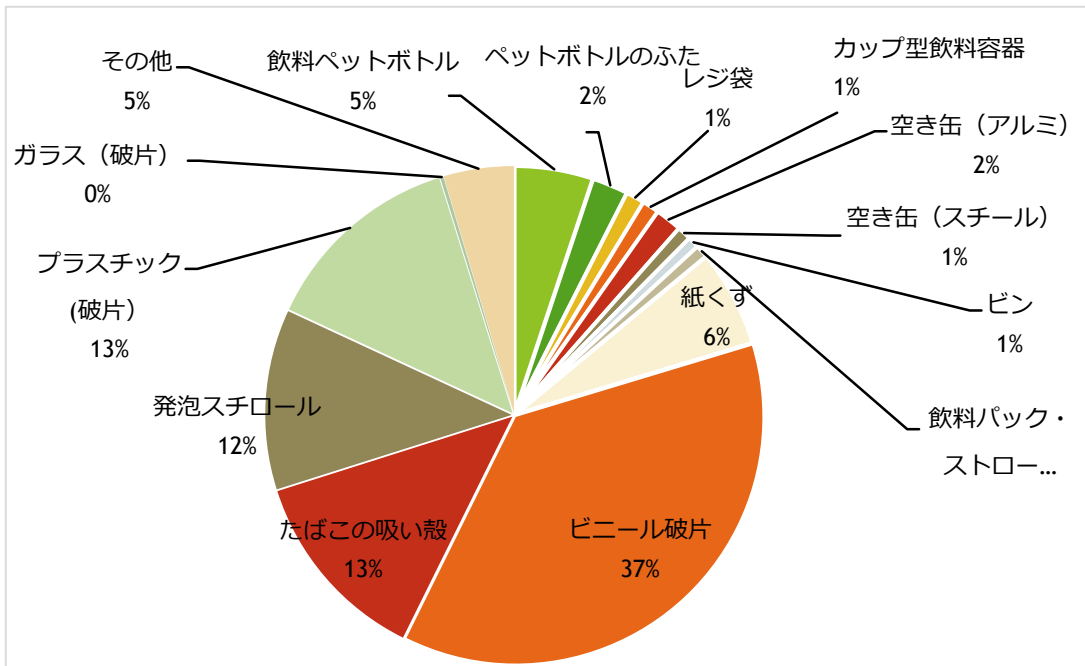
レジ袋 150 (16,483)

カップ型飲料容器 137 (2,361)

※ () 内は全国

全国の結果に比べるとペットボトルやレジ袋の数は
意外と多くない。そのかわり・・・

ビニール破片やタバコの吸殻などの細かなものが多い



この現状を伝え、
源流部からごみを減らしていくためには
どうすればいいのだろうか？

そして取り組み始めたのが

○ごみ調査を活用した環境学習

○諏訪湖全体でのごみ調査

小学生を対象とした環境学習

第1段階：事前学習



調査のやり方だけではなく、ごみの影響などを勉強

小学生を対象とした環境学習

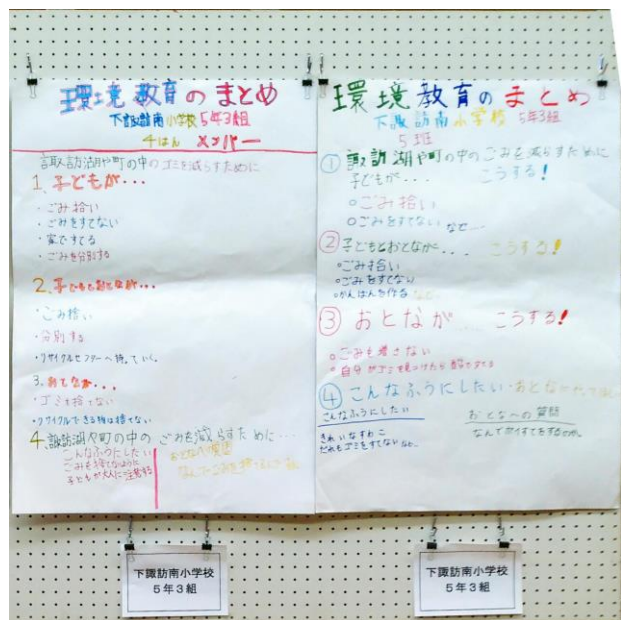
第2段階：現地でのごみ調査

- 調査
- ふりかえり（グループ）
- 発表（全体）



小学生を対象とした環境学習

第3段階：個々の学習



- ▶ これまでの学習を活かして、クラスや個人で改めて学習

平成30年度は
この成果を川ごみサミットで発表しました



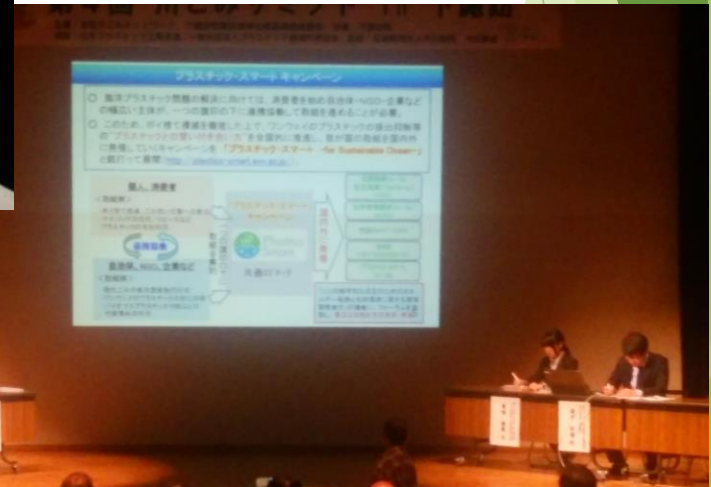
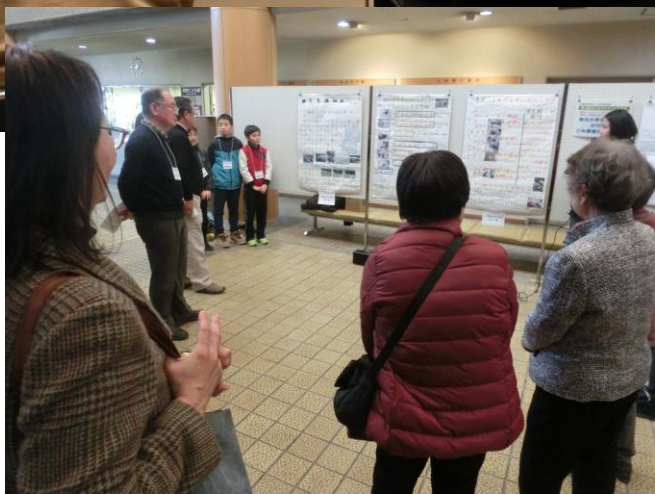
諏訪湖全体でのごみ調査

- 下諏訪町ではごみ調査を開始し、現状把握や参加者の意識向上につなげてきたが、諏訪湖全体から見れば 一部分で行っているに過ぎなかった。
- これまでも、諏訪湖周一斉清掃など、諏訪湖周で同時開催する清掃活動はあったが、漠然としたごみの回収量が分かるだけだった。



諏訪湖全体で調査を行い、今の諏訪湖が
どんな状態なのか調べてみたい！！！！

第4回 川ごみサミットin下諏訪の開催により、諏訪地域の関心が一段と高まった



諏訪湖全体でのごみ調査

平成30年度に長野県は 諏訪湖創生ビジョンを策定



諏訪湖に関わる様々な計画を
集約。水質や湖辺面活用など
様々な分野に対応していく

ビジョン推進のために「諏訪
湖創生ビジョン推進会議」を
設立

このなかで、「ごみの無い諏
訪湖ワーキンググループ」を
立ち上げ

諏訪湖全体でのごみ調査


本年10月5日

「第1回諏訪湖まるまるゴミ調査」実施



諏訪湖周の団体、自治体など、約200名の方に参加していただきました





川ごみ、海ごみの問題を
たくさんと人と一緒に考える機会を創出
し、
ごみをなくしていくための
大きな力につなげていきましょう

下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会